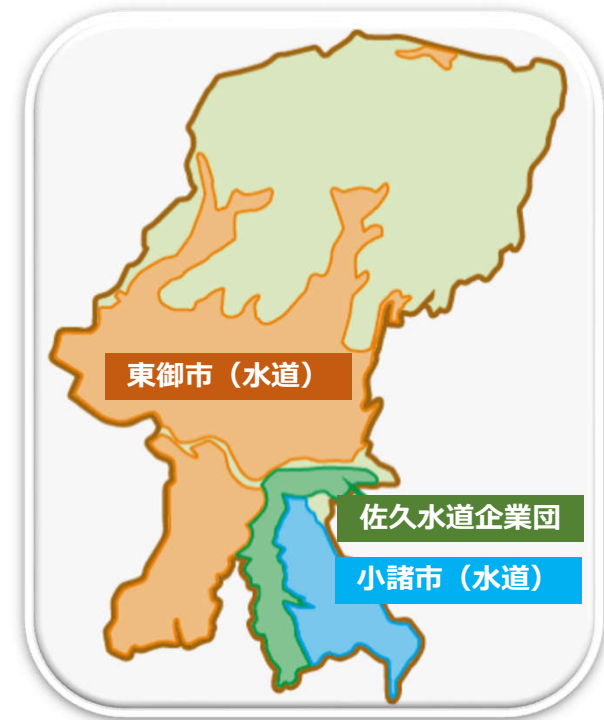


(1) 水道事業について

1) 事業の概要

① 市内の水道事業



東御市の水道事業は、市が直接運営する「東御市（水道）」と「佐久水道企業団」、「小諸市（水道）」の3つの事業体により行われています。



【給水区域内人口／令和7年3月31日現在】

○東御市	26,559人
○佐久企業団	1,467人

② 東御市水道事業の主な水道施設

水道事業は、水源、配水池、浄水池、配水管、給水管などの水道施設を利用して水を供給しています。

③ 東御市水道事業の施設概要

東御市の水源は31箇所、その水を貯めるための配水池等が市内に38箇所あります。また、水を供給するための管路が約356kmあります。

2) 業務の概要

① 業務量の状況（令和7年3月31日現在）

- 東御市水道事業の給水人口は、26,519人
- 年間の配水量は、3,444,839m³

② 防災対策の状況

緊急事態の備え

- ・給水車1台を所有。
- ・隣接市との応援支援協定締結、民間委託業者との応援協定の締結。
- ・拠点となる配水池に、可動式の発電機を設置。
- ・非常用給水袋（6ℓ）を600袋を常備。

③ 水道施設の更新状況

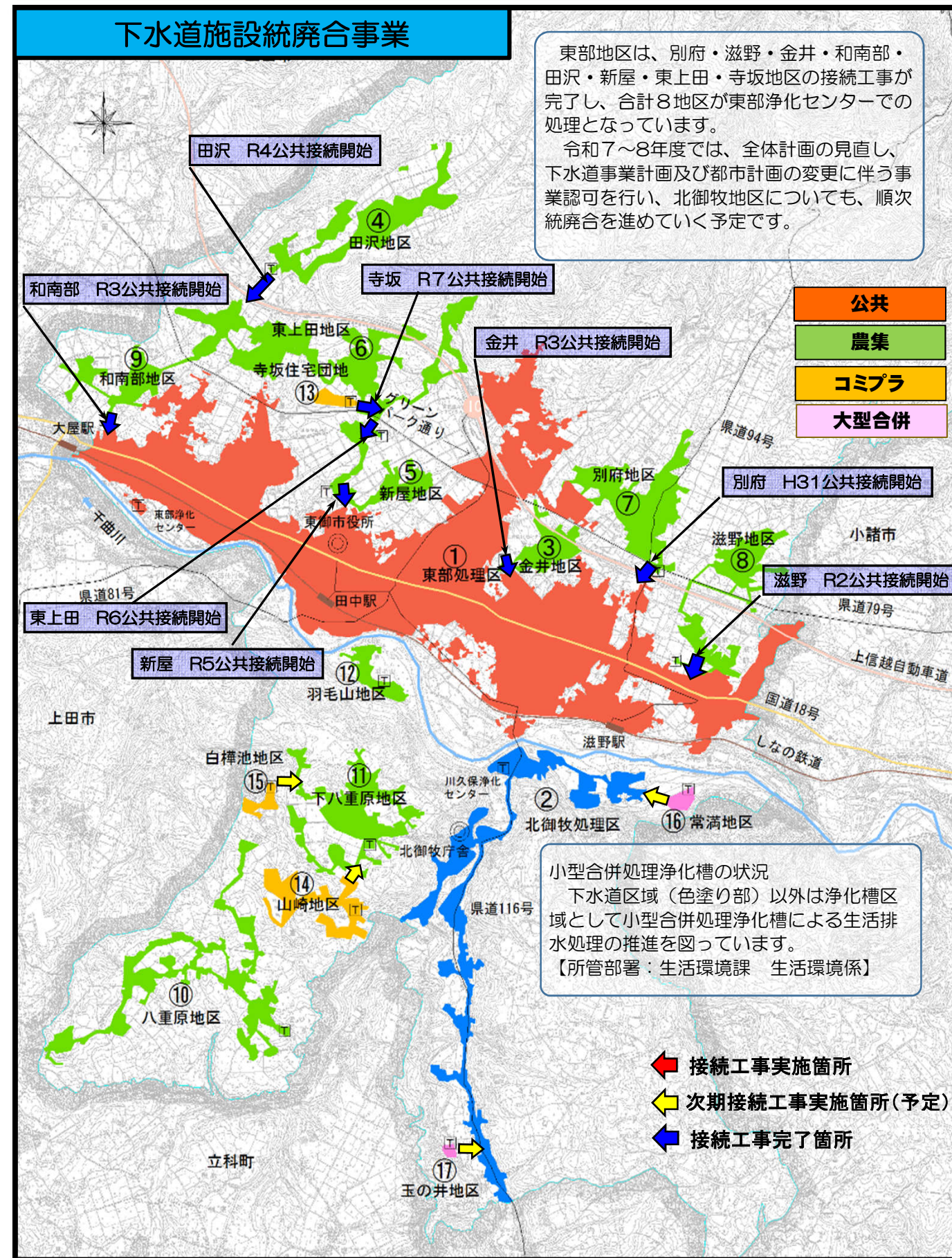
東御市の水道水は、主に、「湧水」と「深井戸」を水源としています。現在、水道水の安定供給や水質改善のため水源の維持管理や施設整備を進めているところですが、老朽化した水道施設への対応も必要になっています。

令和6年度の主な事業

- 水道水の安定供給のための工事
西宮水源深井戸工事
- 水質改善のための工事
上八重原水源更新工事
- 老朽化した水道施設（配水管）への対応
配水管布設替工事
- 老朽化した水道施設（機械設備）への対応
①赤岩水源取水ポンプ、制御盤の更新
②聖第2水源ポンプ制御盤の更新

令和7年度の主な事業

- 水道水の安定供給のための工事
西宮導水管布設、ポンプ設置工事
- 水質改善のための工事
上八重原水源施設更新工事
- 老朽化した水道施設（送水管）への対応
湯の丸送水管布設替工事
- 老朽化した水道施設（機械設備）への対応
①原口水源取水ポンプ、制御盤の更新
②新屋上計装盤の更新



現在進めている主な事業

① 下水道施設統廃合事業

下水道整備から一定の期間が経過し、今後は人口減少等の社会情勢の変化を踏まえたうえで、適正かつ効率的な施設の更新や維持管理を行い、恒久的な下水道サービスを提供していく必要があります。そのため、将来的な経費削減と平準化による下水道事業の経営状況の改善により、持続的・安定的な下水道事業の推進を図るため、平成28年度から事業着手しました。

平成29年度に公共下水道区域への編入手続きが完了し、接続工事については、平成30年度：別府、令和元年度：滋野、令和2年度：金井・和南部、令和3年度：田沢、令和4年度：新屋、令和5年度：東上田、令和6年度：寺坂地区の工事が完了し、東部地区合計8地区全て、公共下水道への接続切り替えが完了しています。

令和7～8年度にかけ、全体計画の見直し、下水道事業計画及び都市計画の変更に伴う事業認可を行い、北御牧地区の統廃合についても順次進めて行く予定です。

② 下水処理場長寿命化・耐震化事業(東部浄化センター)

老朽化した下水道施設の改築・更新を行う長寿命化事業及び耐震性調査の結果、耐震性が不足する施設の耐震補強に取り組んでいます。

【R5年度～】

・汚泥脱水機更新工事
電気設備工事、汚泥脱水機更新

【R7年度～】

・耐震補強工事
1-2系オキシゲネーションイッチ及び最終沈殿池の耐震補強
・水処理施設更新工事
ばっ気設備更新

③ 東部湯の丸サービスエリア管渠接続事業

現在の東部湯の丸サービスエリア（以下【SA】）の汚水処理については、単独合併処理浄化槽であり「東日本高速道路㈱」との協議を経て、公共下水道（東部地区）へ接続する運びとなりました。

現在の状況は、令和6年度までに上り車線のSA付近まで管渠布設工事は完了しています。残る公共枡設置や浄化槽接続の工事については、東日本高速道路㈱との協議により令和10年頃実施予定です。

④ 下水道管路長寿命化・耐震化事業

全国的に多発する下水道管路の老朽化に伴う陥没等の事故を未然に防止するため、老朽化した下水道管路の改築・更新を行う長寿命化事業に取り組んでいます。

また能登半島地震で下水道施設が多く被災したことに伴い、令和6年度に策定した「東御市上下水道事業耐震化計画」に基づき、耐震性調査の結果、耐震性が不足する管路の耐震補強に取り組んでいきます。

【R7年度】

管口カメラ調査 L=6.9km（東部第一幹線：西海野～片羽）

【R8年度】

管口カメラ調査 L=4.2km（東部第二幹線：常田～桜井 他）

【R9年度】予定

管口カメラ調査 L=3.5km（西海野、県、白鳥台）、腐食環境下点検 N=11箇所（市内）

耐震性調査 L=1.1km、マンホールポンプ場 N=3箇所

※調査の結果により、詳細調査・更新、耐震補強工事を実施していきます。

(3) 上下水道事業決算について

1) 令和6年度 水道事業会計決算総括表

① 収益的収入及び支出（水をお届けするための収入と支出）

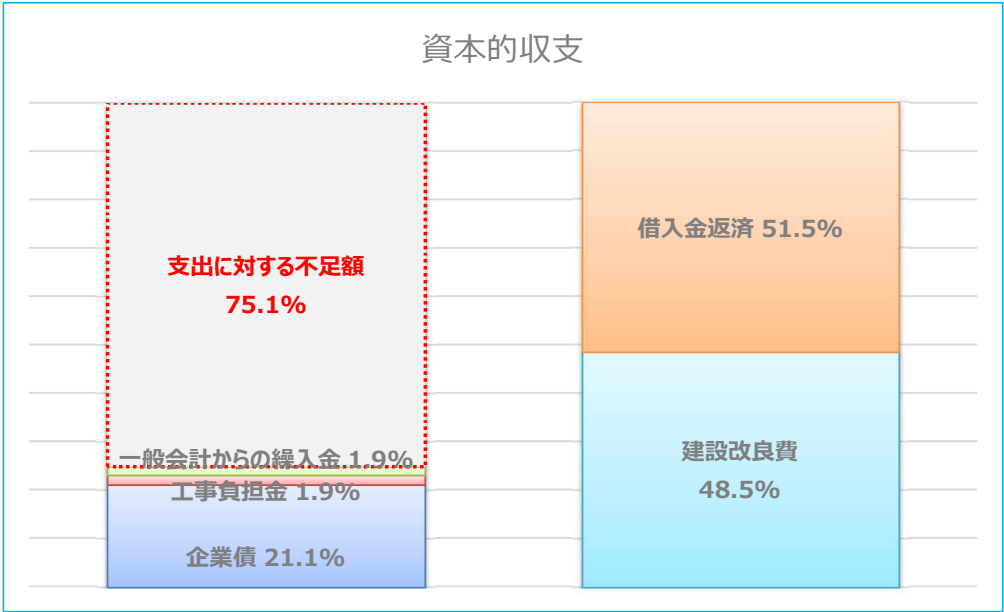
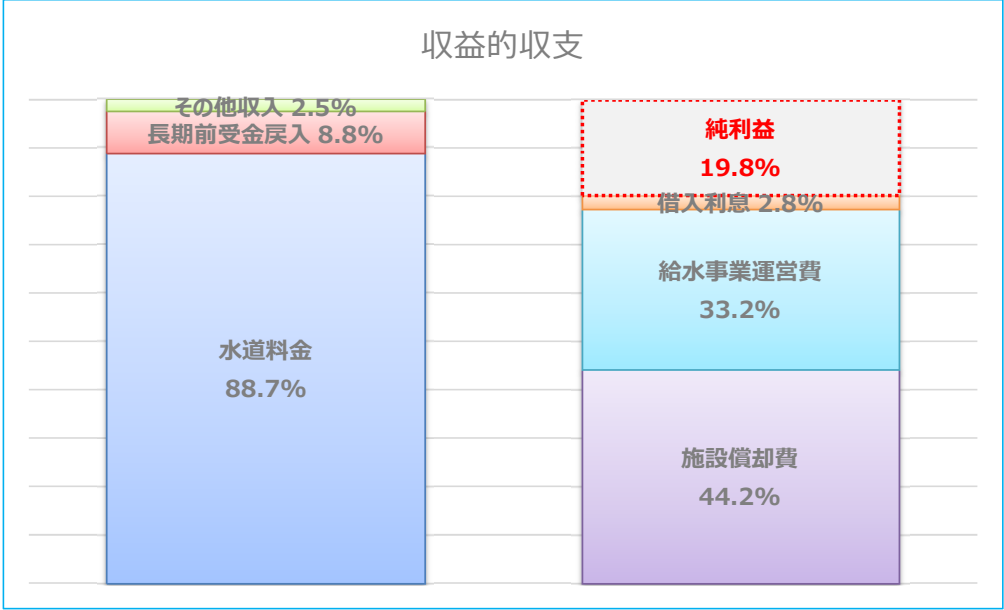
(単位：千円)

収 益 的 収 入				
項	目	本年度	前年度	増減額
営業収益		592,200	589,902	2,298
	給水収益(水道料金)	576,797	579,309	△2,512
	受託工事収益	7,468	4,435	3,033
	その他営業収益	7,935	6,158	1,777
営業外収益		58,483	65,864	△7,381
	受取利息及び配当金	120	60	60
	他会計補助金	506	7,630	△7,124
	長期前受金戻入	57,401	57,709	△308
	雑収益	456	465	△9
収益的収入合計 (a)		650,683	655,766	△5,083

(単位：千円)

収 益 的 支 出				
項	目	本年度	前年度	増減額
営業費用		502,538	487,987	14,551
	原水及び浄水費	78,577	59,373	19,204
	配水及び給水費	93,469	96,938	△3,469
	受託工事費	7,318	4,224	3,094
	総係費	35,172	35,751	△579
	減価償却費	284,983	286,011	△1,028
	資産減耗費	2,901	5,659	△2,758
	その他営業費	118	31	87
営業外費用		18,319	22,422	△4,103
	支払利息	18,270	22,416	△4,146
	雑支出	49	6	43
特別損失	過年度損益修正損	1,316	1,204	112
収益的支出合計 (b)		522,173	511,613	10,560

純利益 (a)-(b)	128,510	144,153	△15,643
-------------	---------	---------	---------



② 資本的収入及び支出（施設を作るための収入と支出）

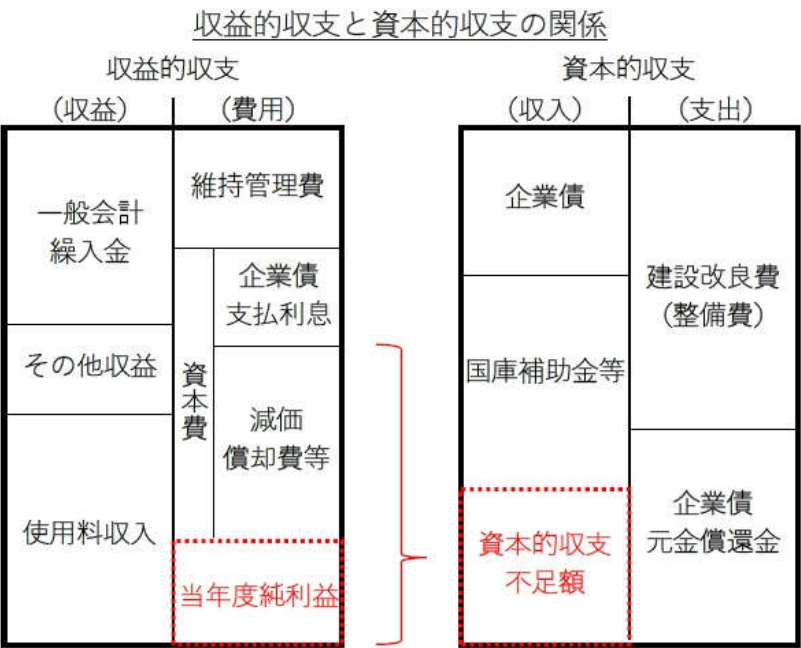
(単位：千円)

資 本 的 収 入				
項	目	本年度	前年度	増減額
企業債	企業債	76,900	76,500	400
補助金	他会計補助金	5,140	5,235	△95
負担金及び分担金		8,463	10,836	△2,373
	工事負担金	6,880	8,792	△1,912
	他会計負担金	1,583	2,044	△461
資本的収入合計 (c)		90,503	92,571	△2,068

(単位：千円)

資 本 的 支 出				
項	目	本年度	前年度	増減額
建設改良費		176,560	144,607	31,953
	配水設備改良費	156,982	128,033	28,949
	配水設備拡張費	1,148	3,112	△1,964
	固定資産購入費	18,430	13,462	4,968
企業債償還金		187,302	215,386	△28,084
資本的支出合計 (d)		363,862	359,993	3,869

収入が支出に不足する額 (d)-(c)	273,359	267,422	5,937
---------------------	---------	---------	-------



2）令和6年度 下水道事業会計決算総括表

① 収益的収入及び支出（下水を処理するための収入と支出）

収 益 的 収 入				
項	目	本年度	前年度	増減額
営業収益		444,060	443,362	698
	使用料	426,560	424,896	1,664
	受託工事収益	0	0	0
	その他営業収益	17,500	18,466	△966
営業外収益		832,075	849,081	△17,006
	受取利息	120	33	87
	他会計補助金	464,941	483,533	△18,592
	長期前受金戻入	366,843	361,448	5,395
	雑収益	171	4,067	△3,896
収益的収入合計 (a)		1,276,135	1,292,443	△16,308

収 益 的 支 出				
項	目	本年度	前年度	増減額
営業費用		1,064,853	1,047,905	16,948
	管渠費	29,913	28,627	1,286
	処理場費	182,917	178,870	4,047
	受託工事費	0	0	0
	総係費	86,836	85,845	991
	減価償却費	765,187	754,333	10,854
	資産減耗	0	230	△230
営業外費用		69,472	86,246	△16,774
	支払利息	68,262	85,471	△17,209
	雑支出	1,210	775	435
特別損失	過年度損益修正損	701	1,096	△395
収益的支出合計 (b)		1,135,026	1,135,247	△221

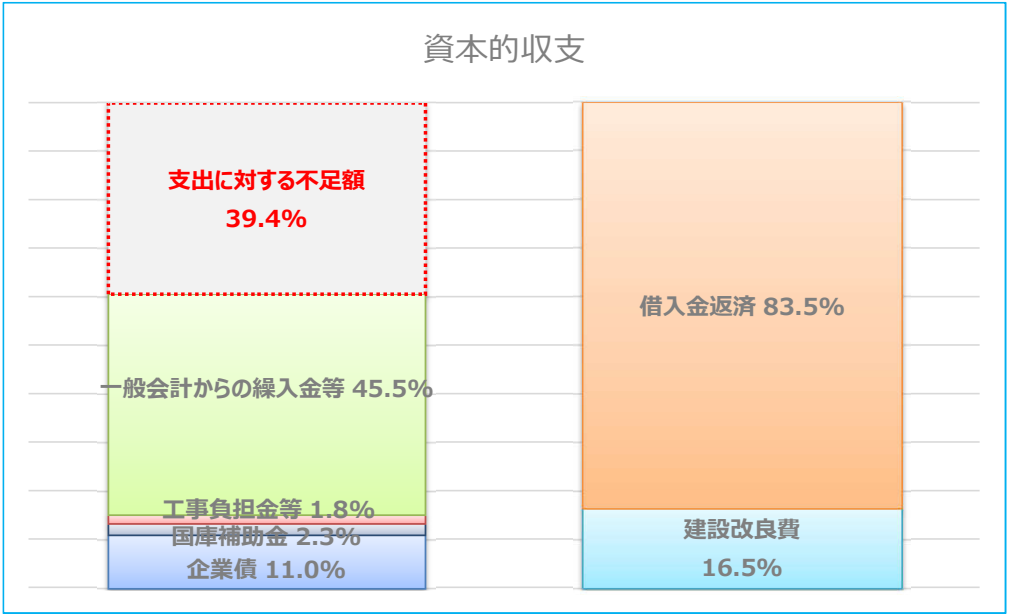
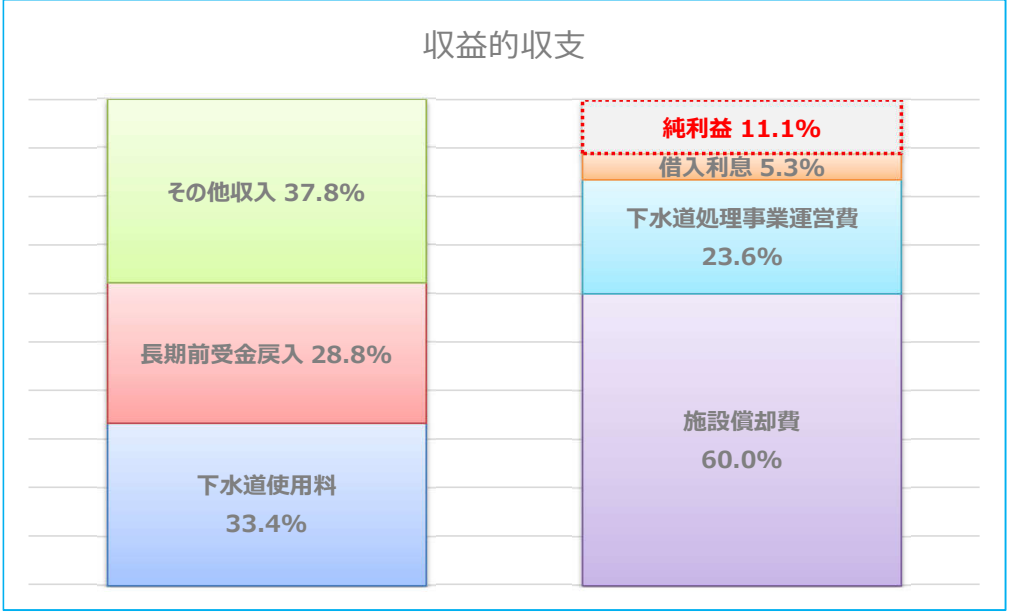
純利益 (a)-(b)	141,109	157,196	△16,087
-------------	---------	---------	---------

② 資本的収入及び支出（施設を作るための収入と支出）

資 本 的 収 入				
項	目	本年度	前年度	増減額
企業債	企業債	103,500	349,500	△246,000
出資金	他会計出資金	425,813	298,742	127,071
補助金	国庫補助金	21,384	271,890	△250,506
負担金及び分担金		18,419	32,011	△13,592
	受益者負担金	17,137	18,238	△1,101
	工事負担金	1,282	13,773	△12,491
資本的収入合計 (c)		569,116	952,143	△383,027

収入が支出に不足する額 (d)-(c)	370,544	454,751	△84,207
---------------------	---------	---------	---------

資 本 的 支 出				
項	目	本年度	前年度	増減額
建設改良費		154,883	568,085	△413,202
	建設事業費	154,883	568,085	△413,202
	固定資産購入費	0	0	0
企業債償還金		784,777	838,809	△54,032
資本的支出合計 (d)		939,660	1,406,894	△467,234



(4) 経営戦略の事後検証について

東御市水道事業経営戦略の事後検証について

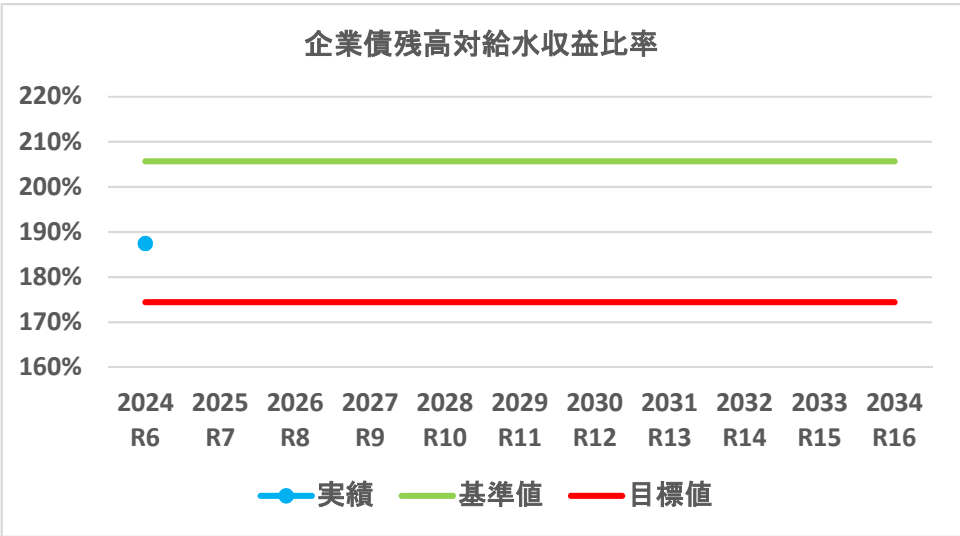
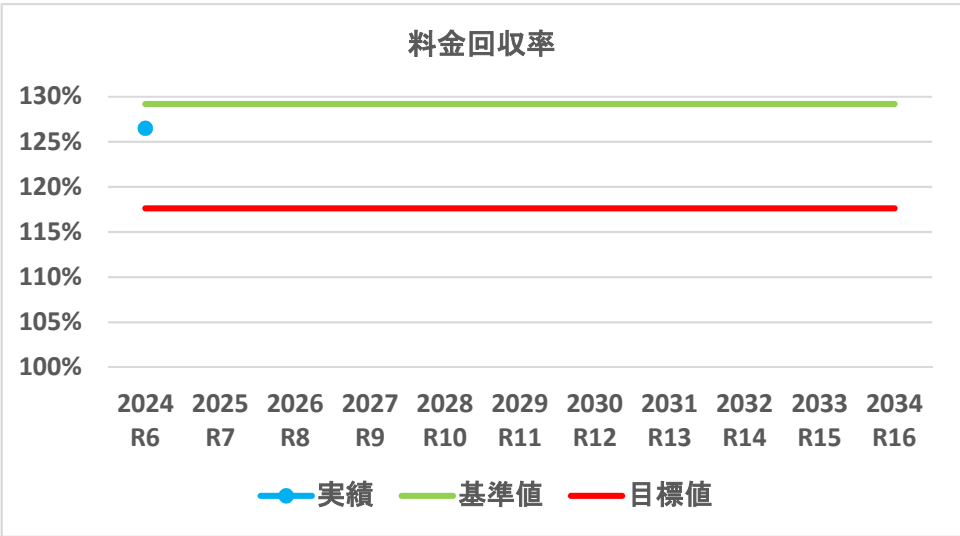
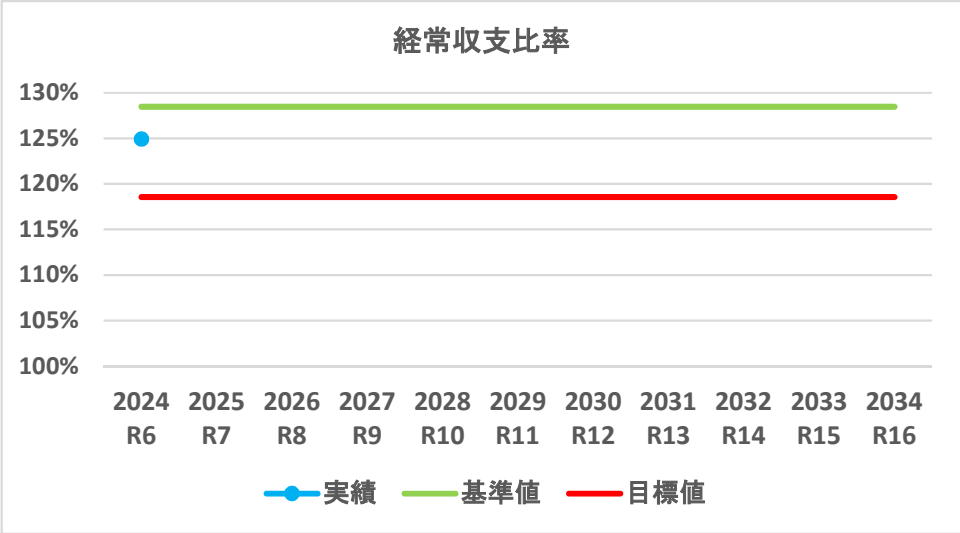
- 1 東御市水道事業経営戦略とは
第3次東御市総合計画において将来像として掲げている「人と自然にやさしい豊かな暮らしを実感できるまち」を目指し、施策としている「上下水道の維持・管理」と整合をはかり、「東御市水道事業ビジョン」や「東御市水道事業基本計画書」、「長野県水道ビジョン」、総務省が示す経営戦略ガイドラインを基に、中長期的な事業運営の方針を示す経営の基本計画として位置づけ、当面の間に取り組むべき事項や方策を示すものです。
- 2 投資計画の進捗状況について
令和7年度からの投資計画については、予定どおり着手しております。
- 3 経営指標の状況について
経常収支比率及び料金回収率は、物価高騰等に伴う費用の増加により低下しました。
目標値は上回っていますが、投資・財政計画の見込みよりも物価高騰等に伴う費用増加が大きくなる場合には、早めに料金改定の検討が必要となります。
企業債残高対給水収益比率は、企業債残高の減少に伴い低下しました。
企業債については、経営状況を見ながら有効に活用して参ります。

<投資計画の進捗>

項目		2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
東入水源 取水施設更新	計画										
	実績										
東入一和姫子沢 送水管布設替え	計画										
	実績										
西宮水源 新水源（深井戸）整備	計画										
	実績										
赤岩配水池 減圧弁設置	計画										
	実績										
栗生沢水源 送水管整備	計画										
	実績										
奈良原第1、第2水源 紫外線処理設備整備	計画										
	実績										
上八重原水源 除マンガンろ過機設置	計画										
	実績										
上八重原水源系 送配水管管路更新	計画										
	実績										
湯の丸系送水管 送水管更新	計画										
	実績										
聖第3水源、出場配水池、大石配水池 可動式発電機整備	計画										
	実績										
市内給水施設管路更新	計画										
	実績										

<経営指標の状況>

経営指標	基準値 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	目標値 (令和16年度)
経常収支比率	128.48%	124.93%											118.55%以上
料金回収率	129.18%	126.49%											117.63%以上
企業債残高対給水収益比率	205.67%	187.43%											174.44%以下



東御市下水道事業経営戦略の事後検証について

1 東御市下水道事業経営戦略とは

東御市下水道事業経営戦略（以下「経営戦略」という。）は、令和5年度（2023年）から令和14年度（2032年）を計画期間とし、長野県が策定する「長野県生活排水対策構想～水循環・資源循環のみち2022構想～」、市が策定する「新たな下水処理計画」、「東御市下水道ストックマネジメント計画」など、関連計画との整合性を図りつつ、東御市総合計画のもと、中長期的な事業運営の方針を示す経営の基本計画として位置づけ、下水道関連施策の方針を定めるものです。

2 経営目標の検証

経営戦略に掲げた経営目標の状況は表1のとおりです。（目標値は表2参照）

水洗化率については、目標値に向け推移しています。

経常収支比率については、基準値以上を維持しています。

経費回収率については、基準値を下回り低下しました。これは物価高騰等による費用の増加が要因となります。

施設利用率については、目標値以上となりました。これは下水道処理施設の統廃合事業の推進によるものです。

有形固定資産減価償却率については、上昇しましたが目標値を維持しています。

今後も持続可能で安定した下水道事業を運営するため、基本方針のもと計画的な投資による施設等の長寿命化の推進、維持管理費の削減など効率的な事業運営に努めて参ります。

表1 経営指標の実績値

経営指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水洗化率	95.05%	95.80%	96.45%
経常収支比率	111.56%	114.04%	112.47%
経費回収率	99.78%	99.71%	99.65%
施設利用率	80.00%	83.44%	92.03%
有形固定資産減価償却率	35.13%	36.80%	38.92%

表2 経営指標の基準値と目標値

経営指標	基準値 令和3年度	目標値 令和14年度
水洗化率	94.43%	96.50% 以上
経常収支比率	111.24%	基準値 以上
経費回収率	99.80%	100%
施設利用率	74.92%	80% 以上
有形固定資産減価償却率	33.06%	50% 以下

＜参考：経営指標の概要＞

- 水洗化率＝現在水洗便所設置済人口÷現在処理区域内人口×100
現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標
- 経常収支比率＝経常収益÷経常費用×100
営業収益や一般会計繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標
- 経費回収率＝下水道使用料÷汚水処理費（公費負担分を除く）×100
使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標
- 施設利用率＝晴天時一日平均処理水量÷晴天時現在処理能力×100
施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標
- 有形固定資産減価償却率＝有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却資産の帳簿原価×100
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す（資産の老朽化度合を示す）指標